

神奈川県民ホールでは 25 年ぶりの上演となる超大作 松山バレエ団 新『白鳥の湖』全幕、まもなく開催！



(左から)堀内充、森下洋子

名門松山バレエ団総出演でお贈りする超大作バレエ、新『白鳥の湖』。去る1月に記者懇談会が行われ、松山バレエ団・総代表で台本・振付・演出の清水哲太郎、主演の森下洋子、堀内充が、熱い意気込みを語りました！

ジークフリードとオデットは、闇の帝王ロットバルトと対照的な、光を象徴する存在

台本・振付・演出 清水哲太郎 Shimizu Tetsutaro

新『白鳥の湖』の時代設定はルネサンス最盛期の16世紀。ドイツ帝国の皇太子ジークフリードと、闇の帝王ロットバルトの魔力で白鳥に姿を変えられた公女オデットは、“銀の森”の湖畔で出会い愛を誓い、善なる人間たちを翻弄しようと企むロットバルトに立ち向かいます。ジークフリードとオデットは、闇の

帝王ロットバルトと対照的な、光を象徴する存在。「人間としての言葉や思いに責任を持ち生きる」というルネサンスの時代精神を体現しているのです。

今や日本バレエ界を牽引する存在となられた堀内充さんには、長年お世話になってきましたが、森下洋子とは初共演になります。誠実な人間性をお持ちで、稽古でも感情豊かに役を務めてくださっています。素晴らしい舞台をお見せできると思いますので、ぜひご期待ください。

この作品を通して多くの人に生きることのすばらしさを伝えたいです

公女オデット／黒鳥オディール 森下洋子 Morishita Yoko

私は1964年の東京オリンピックの年に『白鳥の湖』全幕を初めて主演しました。こうしてまた東京オリンピック開催という記念すべき年に『白鳥の湖』を踊らせていただけることに、幸せを感じます。この作品を通して多くの人に生きることのすばらしさを伝えたいです。

堀内充さんとは初共演ですが、長年お付き合いを重ねてきた身近な存在です。最初から息はぴったりで、「ああ、大丈夫。稽古を重ねていけばいい」と思いました。充さんの魅力は清々しさ。長く踊っていらっしゃいますが、いつもフレッシュで清々しく、一緒に踊ることに喜びを感じます。

県民ホールは、「県民ホールで上演がある」と聞くといつも「うれしい！」と感じる会場です。どこの席からも舞台がきれいに見えますし、私たちアーティストにとっても使いやすい。節目節目の周年の年に必ず呼んでくださり、深い思いを寄せてくださっていることに感謝しています。

森下さんに引っ張られながら全身全霊で務めたいと思います

皇太子・神聖ローマ帝国新皇帝ジークフリード 堀内充 Horiuchi Jyu

清水さん森下さんは、少年の頃からの憧れのアーティスト。よく一人でチケットを買って公演を見に行ったものです。まさか森下さんと踊ることになるとは夢にも思っておらず、オファーをいただいたときは驚きました。森下さんに引っ張られながら全身全霊で務めたいと思います。

今回の稽古で初めて森下さんと踊り、その手を取ったとき、「純粹さとはこのことなんだ」と、胸が高鳴りました。観客の皆さんも、きっと同じ気持ちだと思います。初めて手を取ったときの気持ちを全編を通して表現し、観客の皆さんお一人お一人の代表のつもりで踊りたいと思っています。

松山バレエ団の作品は、忘れかけていたバレエの美しさや楽しさを感じさせてくれます。新『白鳥の湖』を初めて見たときは衝撃を受け興奮しました。舞台一面の花だったり岩だったり。その後もどんどん洗練され続けているこの作品に、私自身も新たな挑戦と思って取り組みたいと思います。



(左から)清水哲太郎、堀内充、森下洋子

松山バレエ団 新『白鳥の湖』全4幕 3/20(金・祝)15:30 開演 神奈川県民ホール大ホール

※チケット情報など詳細は裏面をご覧ください。